

「2015年安保」の意味と課題 ～戦争法廃止に向けて



問題提起

白川真澄さん

『ピープルズ・プラン』編集長、緑の党会員
参考資料「2015年安保闘争について
—その意味と課題（覚書）」

http://www.peoples-plan.org/jp/uploads/2015.09_ampotoso_shirakawa.pdf

コメント

杉原浩司

緑の党 脱原発・社会運動担当
緑の党東京都本部共同代表

- 資料代：500円（会員・サポーター 300円）
- 当日は動画中継も予定しています。

「民主主義って何だ?」「勝手に決めんな!」「9条壊すな!」「安倍はやめろ!」——。2015年夏、憲法違反の戦争法案（安保法案）に反対する巨大なたたかいが、日本列島各地に出現しました。「60年安保」「70年安保」以来45年ぶりに、大規模な人々のうねりが起こり、安倍政権を追い詰めました。

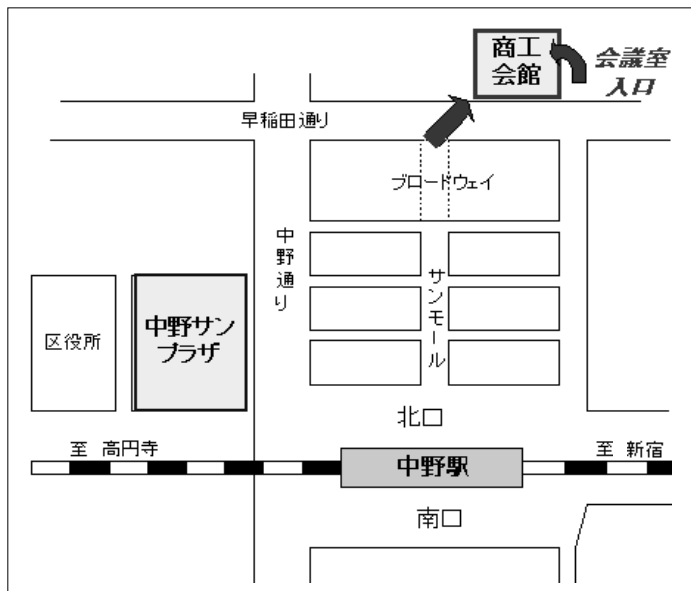
従来の平和運動が幅広く連携したことに加えて、若者たちや母親、元内閣法制局長官や研究者など多くの人々が次々と立ち上がり、「成立」こそ許したものの、その熱と志はしっかりと持続しています。

今回の「2015年安保」の新しい特徴と歴史的な意味は何か。その動きはどこに向かうのか。そして、戦争法の廃止と安倍政権の退陣のために、何が必要なのか。問題提起を受けて、参加者のみなさんと討論したいと思います。ぜひ、ご参加ください。

10/27 (火) 19:00~21:00
(18:30 開場)

会場：**中野区立商工会館** 3階大会議室

中野駅北口より徒歩7分 TEL 03-3389-1181
北口よりサンモール、ブロードウェイを抜けて早稲田通りを渡って右へ。会議室の入口は奥にあります。



緑の党
グリーンズジャパン

東京都本部 & 社会運動部
杉並区高円寺北 2-3-4-601
TEL : 03-5364-9010
FAX : 03-3223-0080